

令和6年4月19日
調布市教育委員会指導室

令和5年度学校に行きづらい子どもの保護者の集い報告について

1 事業のねらい

学校に行きづらい児童・生徒の保護者の中には、子どもへの接し方などにひとりで悩み孤立する可能性があることから、保護者を対象とした情報提供や情報交換の機会をつくることにより、子どもへの対応のヒントや保護者自身の心のサポートを得られるようにする。

2 令和5年度実施内容

各学期に1回開催したほか、土曜日に1回開催し、合計4回実施した。

教育心理の専門家の講演を通じて、保護者が子どもへの対応のヒントや心のサポートを得られるよう支援するとともに、保護者同士の情報交換（グループトーク）を実施し、保護者同士が悩みや不安を話し合える場を提供した。また、様々な相談先や支援の情報提供を行った。

事業の周知方法については、学校安全・安心メールを活用し、より広い周知に努めた。

<第1回>

○日時 令和5年5月22日（月）午前10時から正午まで

○場所 調布市教育会館 301・302研修室

○内容

- ・講演 講師 東京学芸大学教育学部 教授 松尾 直博 先生
テーマ「～学校に行きづらい子どもへの声かけの仕方について～」
- ・訪問型学習支援事業「みらい」について
- ・保護者同士の情報交換（グループトーク）
- ・松尾先生による質疑応答

○参加者数 18人

○アンケート内容抜粋

- ・今までたくさんの本や講習を聞いてきましたが、他にも知らなかったことがわかりました。また、自分が今やっていることは正しいのか？迷っているときの味方にもなり、また頑張れそうです。
- ・子どもの中でどういうことが起きているのかが、講演を聞いてよく理解でき、納得できる部分がとても多かった。主体性を育てるために子どもの思いを受け止めたうえで大人も自分の思いを伝えるという言葉も励みになった。5年生なので、少しずつ試してみたいと思う。
- ・子どもの話をよく聞いてあげること認めてあげることが大切だと思った。
- ・同じ悩みを持つ人と話す機会がなかったので皆さんが子どもに向き合い、情報をあ

つめ、日々頑張っていることに励まされました。

- ・初めてお会いする方々とお話ということで最初は緊張しましたが、似た悩みや状況を共有できて、とても参加してよかったなと思いました。

<第2回>

○日時 令和5年9月2日（土）午後2時から午後4時まで

○場所 調布市教育会館 301・302研修室

○内容

- ・講演 講師 東京学芸大学教育学部 教授 松尾 直博 先生
テーマ「～COCOLO プランから考える、学校に行きづらい子どもへの支援方法～」
- ・調布市の不登校児童・生徒への支援について
- ・保護者同士の情報交換（グループトーク）
- ・松尾先生による質疑応答

○参加者数 32人

○アンケート内容抜粋

- ・自分も我が子が不登校になるまで国や自治体のとりくみを知ることもなかった。当事者はもちろんですが、いろんな人に聞いて知るべきだと思いました。
- ・すごく良かったです。心が軽くなった。
- ・「はしうち教室」が日本初かつ日本全国で30校弱しかないことを初めて知りました。いろんな支援を調布市がしていることを知ることができて、良かったです。
- ・現在の国や自治体の学校教育についての仕組み、バックグラウンドなどの説明から始まり、全国各地の様々な取組を聞くことが出来て大変参考になりました。今私自身が仕事をどうするかを考えているところであり、仕事でこんなことがあったみたいな話することから会話をするのも良いということがとてもひびきました。今後の参考にさせて下さい。
- ・同じ悩みを持っておられる方々とお話できて心がフッと軽くなりました。
- ・いつもドキドキしますが、あっという間に時間がすぎます。同じ気持ちを共有できるいい機会だと思います。

<第3回>

○日時 令和5年11月15日（水）午前10時から正午まで

○場所 調布市教育会館 301・302研修室

○内容

- ・講演 講師 東京学芸大学教育学部 教授 松尾 直博 先生
テーマ「～学校に行きづらい子どもの居場所と進路～」
- ・不登校児童・生徒の現状と今後について 指導室教育支援担当 統括指導主事
- ・保護者同士の情報交換（グループトーク）
- ・松尾先生による質疑応答

○参加者数 24人

○アンケート内容抜粋

- ・進路についてお話を聞けたので、まだ先ではあるけれど、心づもりができてよかった

たです。今はいろいろな選択肢があり、親世代のころとは変わってきているのだと感じました。

- ・具体的でわかりやすい講演でした。
- ・今は、色々な選択があるということは分かっているけれど、いざ、今の子どものこと、将来を考えると不安もある。このような会へ参加し、今を知ることはありがたい。
- ・同じ悩みを共有できてとても有意義だった。始まる前は抵抗感があったが、やって良かったです。
- ・それぞれ事情が違うけれど、お話したことで、一人じゃないという気持ちになり、気持ちが少し楽になりました。

<第4回>

○日時 令和6年2月29日（木）午前10時から正午まで

○場所 調布市教育会館 301・302研修室

○内容

- ・講演 講師 東京学芸大学教育学部 教授 松尾 直博 先生
テーマ「～無理しすぎないこと、自分も楽しむこと、子どもへの声かけ方法～」

- ・調布市の不登校に関する教育相談のご案内
- ・教育支援コーディネーターからのお話
- ・保護者同士の情報交換（グループトーク）
- ・松尾先生による質疑応答

○参加者数 13人

○アンケート内容抜粋

- ・気持ちが楽になる内容でした。私自身がずっとイライラ、情緒不安定で子どもにきつい言い方をして泣かせたり、子どもが自分のことをだめだと感じるような接し方をしていたので、最近やっと自分も行動しないと、思っていたので参考になりました。
- ・居場所や相談できる方等、とても大切だと思っている。自分自身の色々な場へ出ていくのは得意な方だが、苦手な方でも出てきやすい相談しやすい場が沢山ある調布のシステムはありがたい。

3 令和6年度の実施予定

引き続き、各学期に1回及び土曜日1回の合計4回の開催を予定。